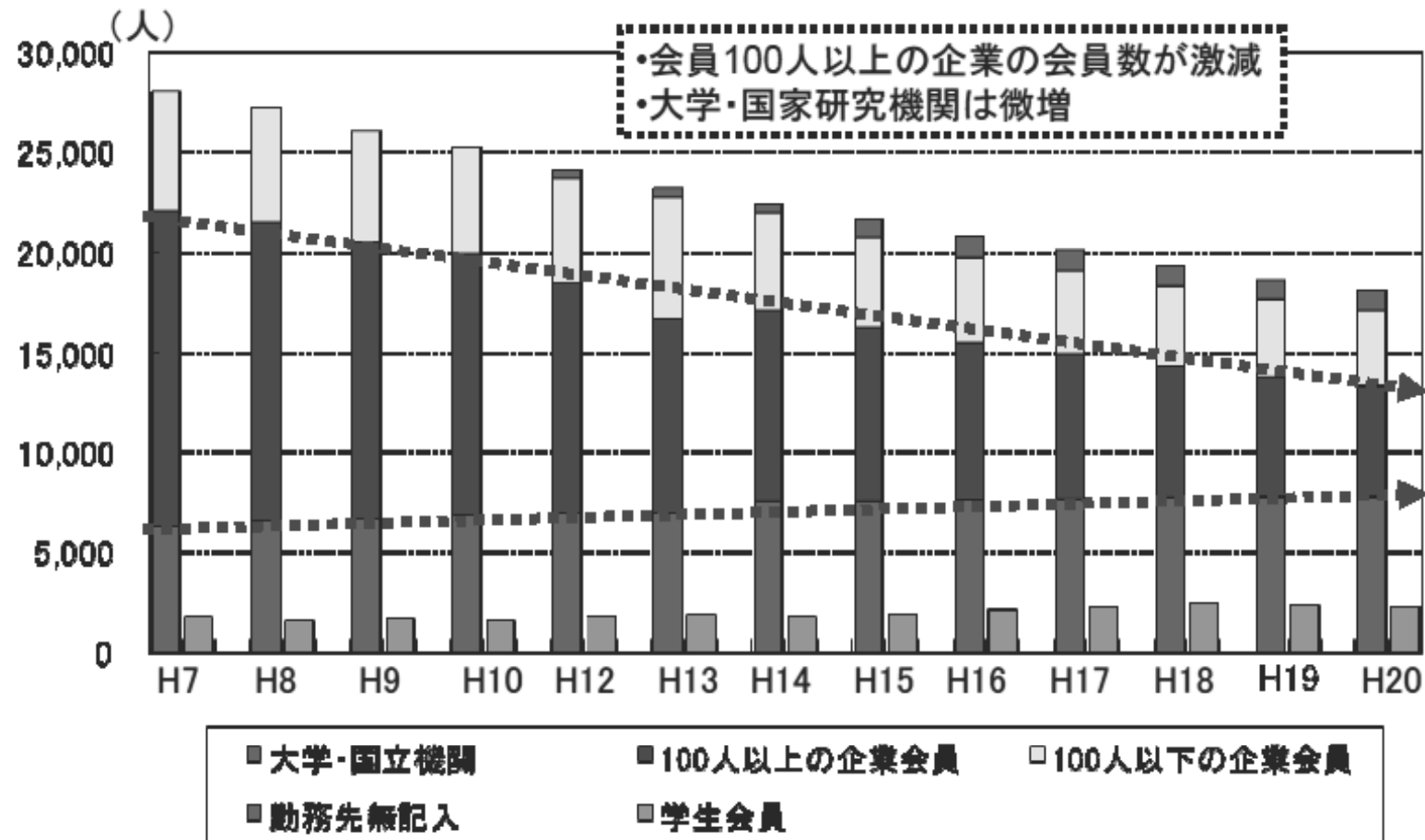


1. 平成20年度事業報告

緊急の課題: 正会員数の減少

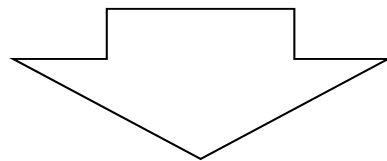


* H11は新システムへの移行によりデータ集計不備

平成20年度 主な活動成果 (1) (p.1, 12) ~ ITプロフェッショナルの地位向上の取組み ~

情報処理技術者の資格試験の在り方に関する基本的な考え方の取り纏め

- ITSSに準拠した資格制度の新設
- 本会が資格認証機関として機能する枠組み



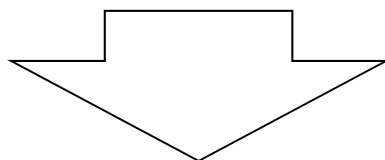
21年度の詳細設計へ

平成20年度 主な活動成果 (2) (p.1, 12) ~ ITプロフェッショナルの地位向上の取組み ~

第三者的見地から本会のあり方を考える
「アドバイザリーボード」を設立 (20年4月)
学会に対する提言を提出 (21年3月)

初代座長: 石原邦夫 氏 (東京海上ホールディングス会長
経団連 情報通信委員会 共同委員長 / JUAS会長)

提言内容は別冊参照



具体的な対応施策は21年度計画に反映

平成20年度 主な活動成果 (3) (p.1)

公益法人制度改革への対応

平成20年12月 1日 新公益法人制度施行

平成20年12月22日 臨時総会

一般社団法人への移行決議

平成21年1月15日 一般社団法人移行申請

現在、行政庁からの認可待ち

平成20年度 主な活動成果 (4) (p.1, 84)

50周年(平成22年)記念事業の推進 ～ 会員サービスの一層の向上と社会への還元～

- (1) 論文誌・研究会活動のオンライン化
- (2) 次世代型ハンドブックの刊行
- (3) 記念全国大会の開催
- (4) コンピュータ将棋とトッププロ棋士との対局
- (5) 50年史、記念会誌、記念論文、記念式典

各詳細は21年度計画を参照

平成20年度 主な活動成果 (5) (p.8)

「情報処理技術遺産」

「分散コンピュータ博物館」

の認定制度の開始

3月2日に国立科学博物館で初回認定式を挙

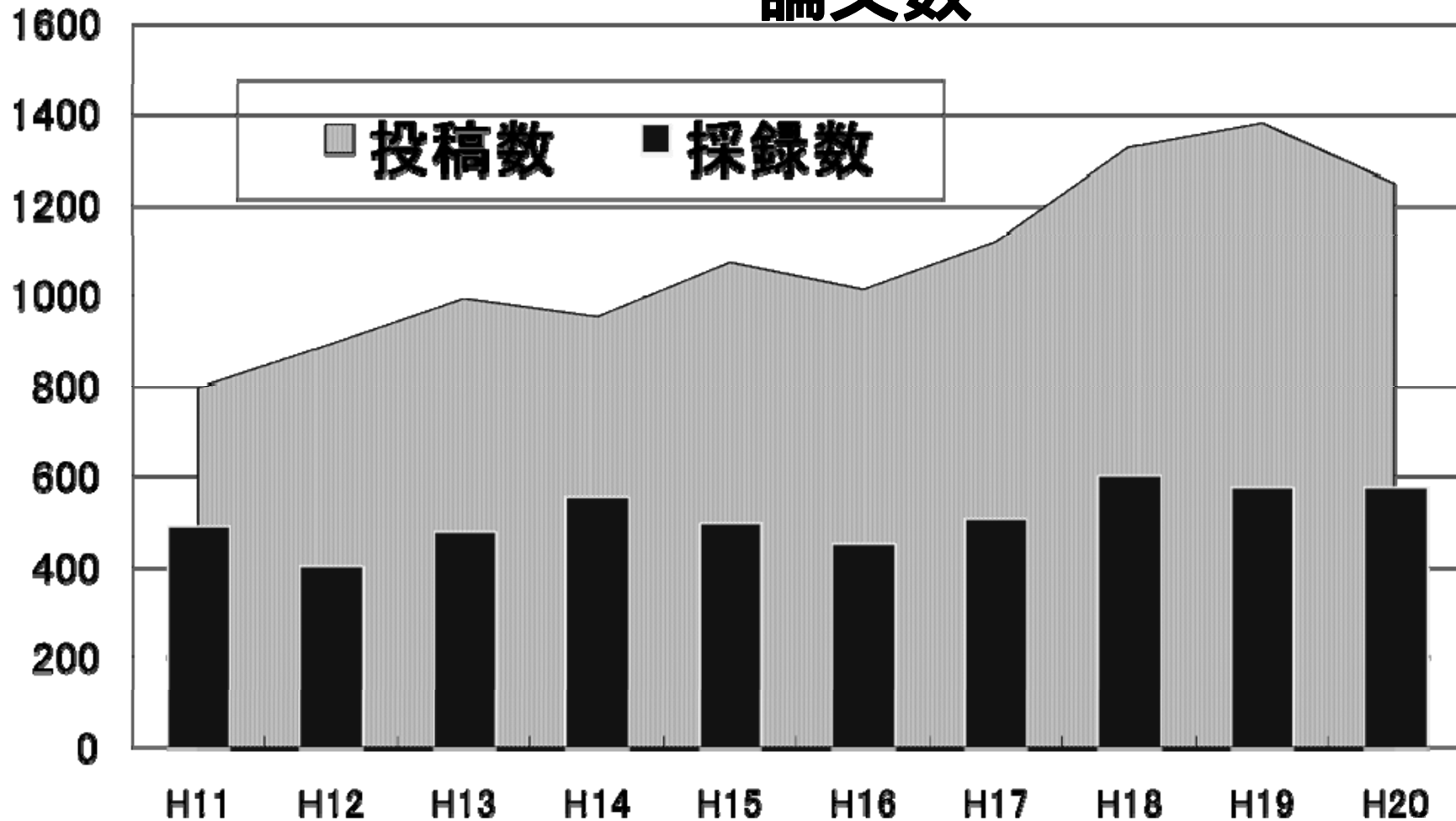
情報処理技術遺産認定式



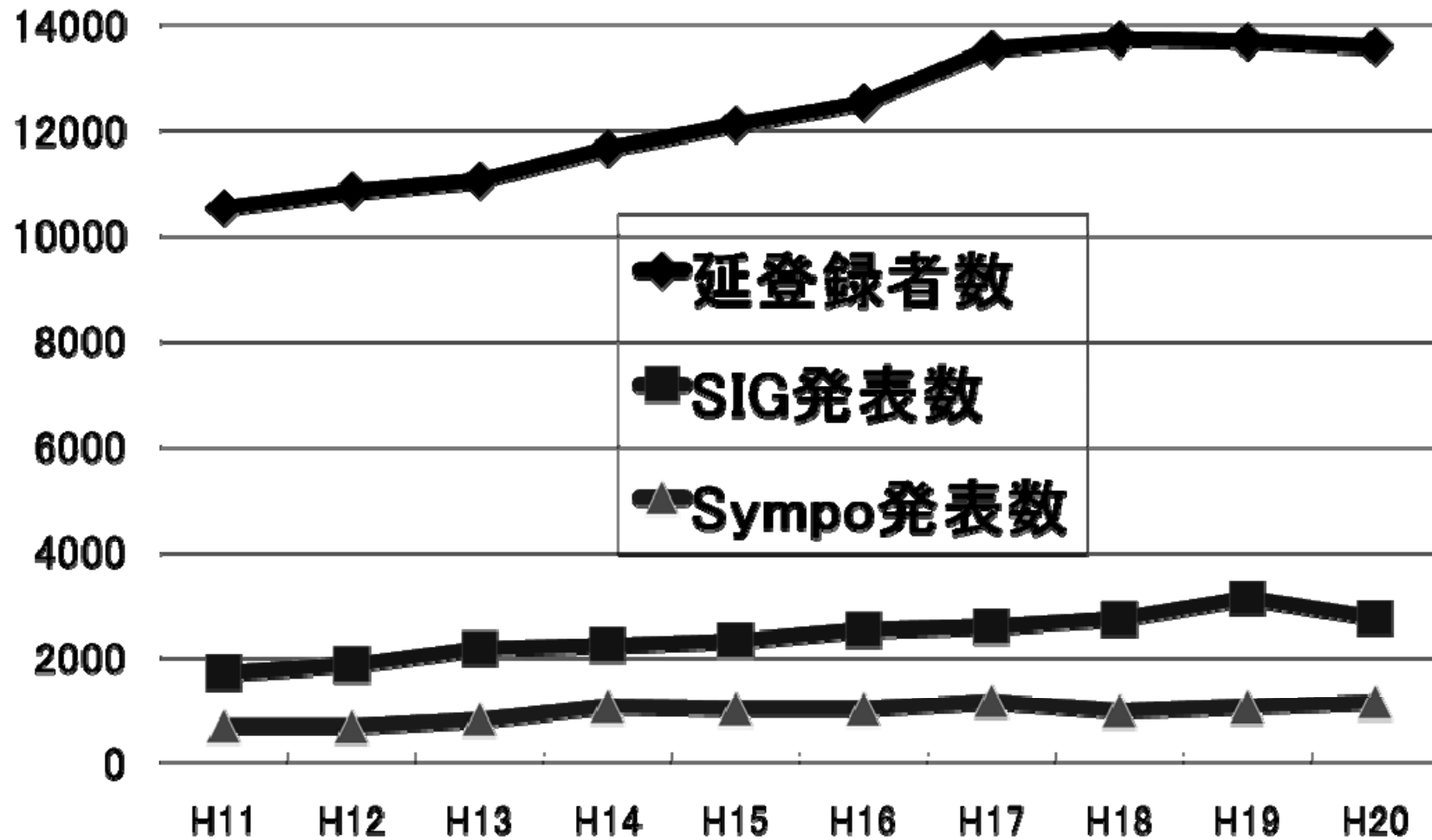
認定式の様子(写真左:佐々木会長,
右:自働算盤の所有者,梅田利行氏)

自働算盤の認定証

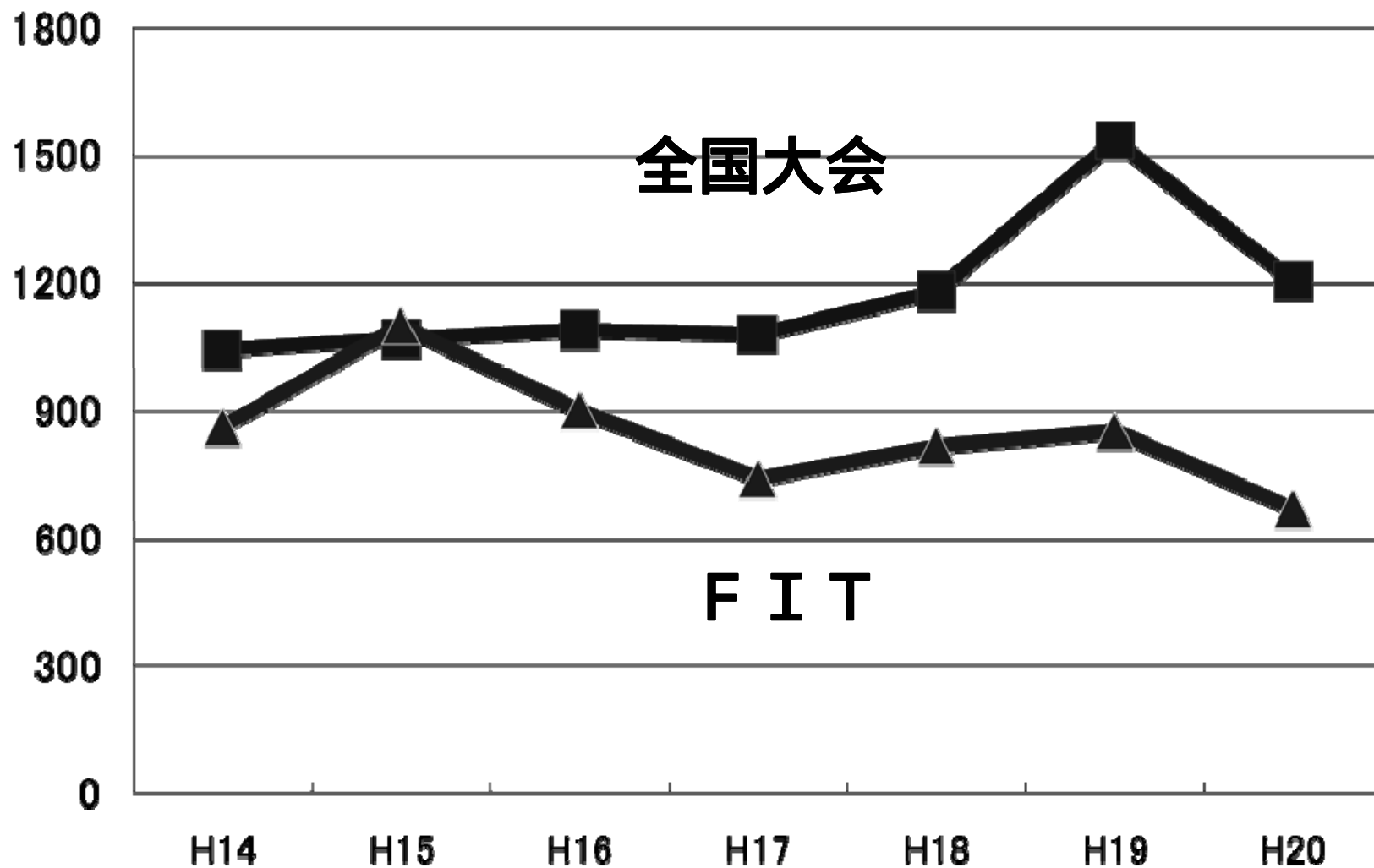
[参考] ジャーナル・トランザクション 論文数



[参考] 研究会（登録数・発表数）



[参考] 全国大会・FIT講演数



2. 平成20年度決算報告

平成20年度貸借対照表 (p.41)

	*税法上の出版業の区分に相当するもの。[]内は前年度比 (単位:千円)					
	本部					
	一般	収益事業*	規格	支部	内部消去	合計
資産	821,800	42,945	316,980	24,541	47	1,206,219
	[102%]		[100%]	[104%]		[102%]
負債	159,741	40,109	43,885	0	47	243,688
	[90%]		[102%]	[0%]		[93%]
正味財産	662,059	2,836	273,095	24,541		962,531
(うち積立資産)	(441,039)		(160,440)			[105%]

前年度実績からの増減の主要因 (p.63)

単位:千円

[資産] 22,329 増

・特定資産増: 54,829 (積立増額,他利息)

・特定資産減: 29,286 (記念事業, JTC1総会他)

ほか

[負債] 19,321 減

・未払金減: 8,306 (刊行物作成費 減ほか)

・前受金減: 9,214 (会費収入減ほか) ほか

[正味財産] 41,650 増

平成20年度正味財産増減計算書 (p.42)

*税法上の出版業の区分に相当するもの。[]内は前年度比 (単位:千円)								
		本部						
		一般	収益事業*	規格	支部	内部消去	合計	
経常増減	収益	472,823	143,594	179,300	18,248	20,780	793,185	
		[97%]		[106%]	[100%]		[99%]	
	費用	433,110	146,922	181,497	17,387	20,780	758,137	
		[98%]		[108%]	[92%]		[100%]	
	増減	39,713	3,328	2,197	861	0	35,048	
経常外増減		2,037	2,280	2,283	0		6,600	
当期増加		41,750	1,048	86	861		41,650	
前期繰越		620,309	3,884	273,009	23,679		920,881	
次期繰越		662,059	2,836	273,095	24,540		962,531	

前年度実績からの増減の主要因 (p.65)

		単位:千円
[経常収益]	<u>10,985</u> 減	
事業収益減:	9,655 ほか	
- オンライン化による掲載料等の単価低減化	22,245	
- イベント広告・参加収入減	13,524	
- 受託業務増	21,946 ほか	
[経常費用]	<u>1,766</u> 増	
- オンライン化による経費減	27,981	
- 受託関係経費, 記念事業関係経費増	29,002 ほか	
[経常増減額]	<u>12,751</u> 減	

2-付 . 平成20年度監査報告

独立監査人監査報告 (p.71)

学会監事監査報告 (p.72)

3 . 平成21年度事業計画

平成21年度 重点活動 (1) (p.73, 82)

アドバイザーボードからの提言に基づく アクションプランの推進

～ 中期的目標としての実施施策 ～

- (1) インダストリアルペーパーの創設
- (2) 高度IT人材資格制度への取り組みの推進
- (3) 標準化活動の更なる推進
- (4) 学術・実務・標準の3焦点間での連携
- (5) ダイバシティに向けた取り組み

平成21年度 重点活動 (1) (p.82)

～ 中期的目標としての実施施策～

(1) 実務家の経験・知識の発露の場としての インダストリアルペーパーの創設

[インダストリアルペーパー準備WG]

査読基準の策定・発刊方法等の具体的
検討後、年度内に第1回発行を目指す

平成21年度 重点活動 (1) (p.73, 83)

～ 中期的目標としての実施施策～

(2) 高度IT人材資格制度への取り組みの推進

[ITプロフェッショナル委員会]

資格試験制度の詳細設計

制度の位置付け, インセンティブ, 運営体制
の継続検討

次年度(22年度)制度試行

IFIPの動向に応じたIP3の認定取得準備

平成21年度 重点活動 (1) (p.83) ～ 中期的目標としての実施施策～

(3) 標準化活動の更なる推進

[情報規格調査会]

標準化活動の成果の積極的な外部発信

平成21年度 重点活動 (1) (p.83)

～ 中期的目標としての実施施策 ～

(4) 学術・実務・標準の3焦点間での連携

[技術応用運営委員会]

「学術」「実務」「標準」の全ての人が集まって
議論できる場の提供

平成21年度 重点活動 (1) (p.83) ～ 中期的目標としての実施施策～

(5) ダイバシティに向けた取り組み

[技術応用運営委員会ほか]

ITダイバシティフォーラムの活動に加え、
情報処理分野の女性・外国人への
プレゼンス向上を図る

平成21年度 重点活動 (1) (p.83)

アドバイザーボードからの提言に基づく アクションプランの推進

～ 短期的目標としての実施施策 ～

- (1) 積極的な新規会員勧誘と会員減の防止
- (2) 広報活動の活性化と情報発信の推進
 広報委員会の設置
- (3) 青少年向け活動の推進
- (4) 多面的なベンチマーキング(PDCA)の実施

平成21年度 重点活動 (2) (p.84)

50周年(平成22年)記念事業の推進 ～ 会員サービスの一層の向上と社会への還元～

- (1) 論文誌・研究会活動のオンライン化
- (2) 次世代型ハンドブックの刊行
- (3) 記念全国大会の開催
- (4) コンピュータ将棋とトッププロ棋士との対局
- (5) 50年史、記念会誌、記念論文、記念式典

平成21年度 重点活動 (2) (p.84)

～ 創立50周年記念事業 ～

(1) 論文誌・研究会活動のオンライン化

2008年4月 論文誌のペーパーレス化

2008年9月 発行後2年の刊行物のオープンアクセス化

2009年4月 研究会活動のペーパーレス化

2010年4月 NIIの協力を得て、低価格で購読可能な
総合デジタルライブラリ(仮称)を実現予定

平成21年度 重点活動 (2) (p.84)

～ 創立50周年記念事業 ～

(2) 次世代型ハンドブックの刊行

- ・オンラインで持続的に修正・拡張
- ・2010年3月に初版を会員に公開予定
- ・さらに、他学会と連携した「総合学術辞典」
を構築し、広く一般へ公開予定

平成21年度 重点活動 (2) (p.84)

～ 創立50周年記念事業 ～

(3) 記念全国大会

会期:2010年3月9日～11日

会場:東京大学 本郷キャンパス

テーマ:コンピュータの無い社会を想像できますか?

招待講演

・Frances Allen 氏 (IBM 名誉フェロー)

* 女性初のチューリング賞受賞者

・濱田純一氏 (東京大学 総長)

平成21年度 重点活動 (2) (p.84) ～ 創立50周年記念事業 ～

(4) コンピュータ将棋とトッププロ棋士との 対局

- ・コンピュータシステムとソフトウェアの性能を最大限まで発揮することを要求したコンピュータ将棋とトッププロ棋士の対戦を実施し、IT技術の進歩に貢献する
- ・対局実施は平成22年秋予定

平成21年度 重点活動 (2) (p.85)

～ 創立50周年記念事業 ～

(5) 記念会誌、記念論文、50年史、式典

記念会誌 2010年に特集号を予定

記念論文 記念式典で表彰

応募締切:2010年2月1日

50年史 記念式典で配布

記念式典 2010年11月18日

4 . 平成21年度収支予算

平成21年度収支予算（補足）

新々公益法人会計基準に準拠

収支予算書

- ・法人全体で正味財産増減計算書ベースで作成

内訳表

- ・一般社団法人としての申請事業区分に対応
- ・旧会計区分は内訳表に分散移行
- ・事業費は、従来の管理費の一部配布後の数値

参考：旧会計区分に準じた予算表示

正味財産増減計算書ベースの予算書、[]内は前年度比 (単位:千円)						
		本部	規格	支部	内部消去	合計
経常増減	収益	538,455	171,357	17,957	20,780	706,989
		[96%]	[104%]	[99%]		[98%]
	費用	605,774	173,148	23,631	20,780	781,773
		[106%]	[97%]	[104%]		[104%]
	増減	67,319	1,791	5,674	0	74,784
	経常外増減	0	0	0		0
	当期増加	67,319	1,791	5,674		74,784
	前期繰越	664,895	273,095	24,541		962,531
	次期繰越	597,576	271,304	18,867		887,747

前年度予算からの主な増減の主要因 (p.41)

[経常収益]	<u>16,674</u> 減	単位:千円
受取会費減:	9,170 (会員減)	
事業収益減:	9,882 ほか	
- オンライン化による研究会登録費単価低減化	18,358	
論文掲載計画数減	9,113	規格賛助口数減 6,300
- イベント広告・参加増	22,053	ほか
[経常費用]	<u>28,946</u> 増	
- オンライン化による経費減	22,325	
- 記念事業関係経費増	53,000	ほか
[経常増減額]	<u>45,620</u> 減	

5. 会費滞納会員の扱い

除名 535名

引続き 表彰等

- ・ 名誉会員
- ・ 平成20年度功績賞
- ・ 平成20年度論文賞
- ・ 平成20年度喜安記念業績賞
- ・ 平成20年度長尾真記念特別賞
- ・ 平成21年度役員改選
- ・ 法人移行に伴う定款の追加変更